

【議 題 2】

令和 7 年度 事業計画の検討について

資料の趣旨

- 令和 7 年度に向けて、地域の課題に即した事業展開を進めていくため、各支部では医療費情報や健診情報の分析を行い、事業計画・予算策定の準備を進めております。
本日は福島支部の課題と現時点での素案をお示しし、評議員の皆様からのご意見を伺いたく存じます。
- 今後、協会けんぽ本部から示される予算額と本日いただくご意見を踏まえて策定する事業計画と予算案については、次回1月の評議会でご審議いただく予定としています。

「事業主・被保険者・学識経験者」それぞれのお立場で、次の視点でご意見をいただきたくお願いいたします。

- ・今まで実施してきた事業の継続に対する意見
- ・改善が必要と考えられる事項に対する意見
- ・新たな切り口のご提言



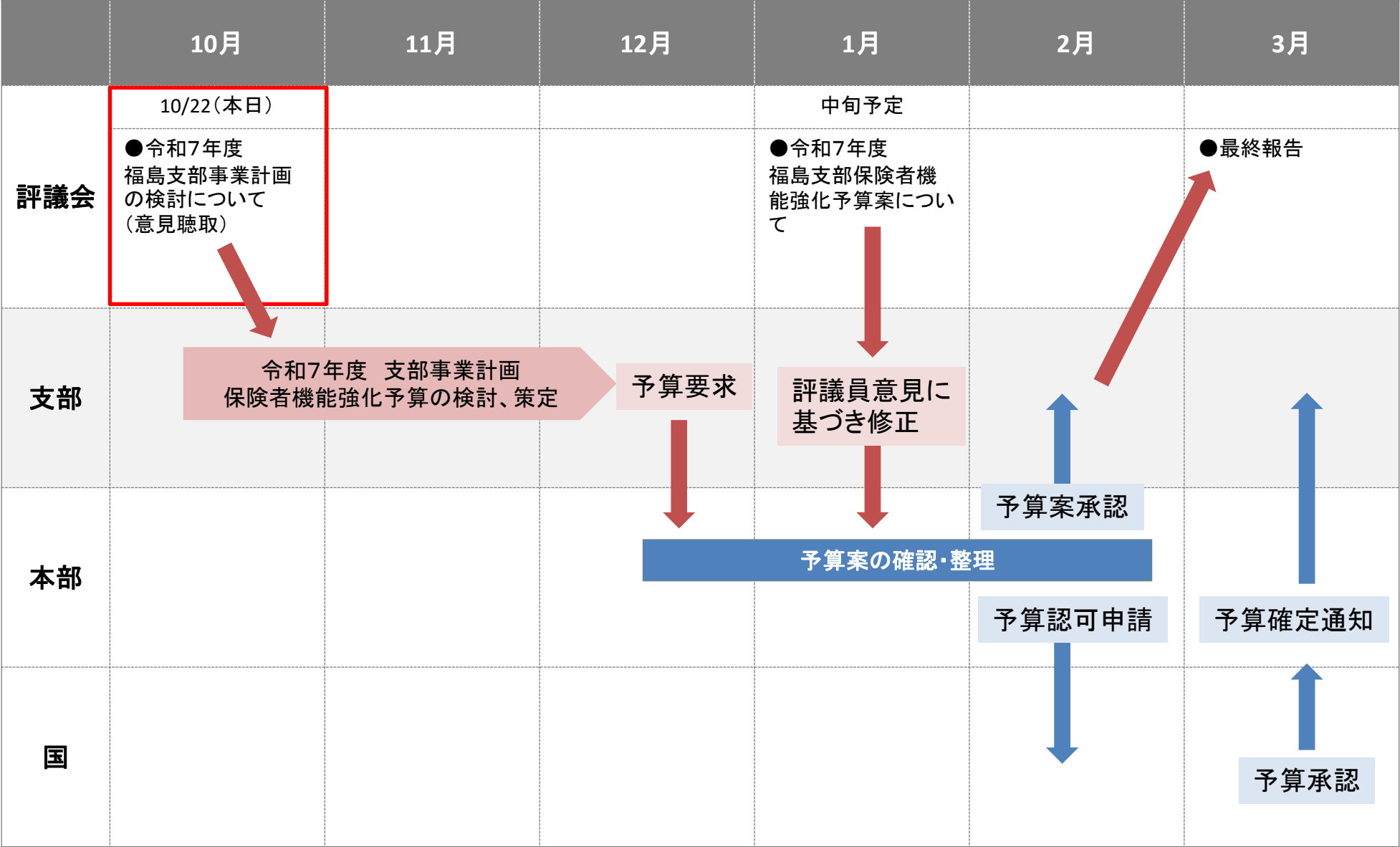
ケンタくん



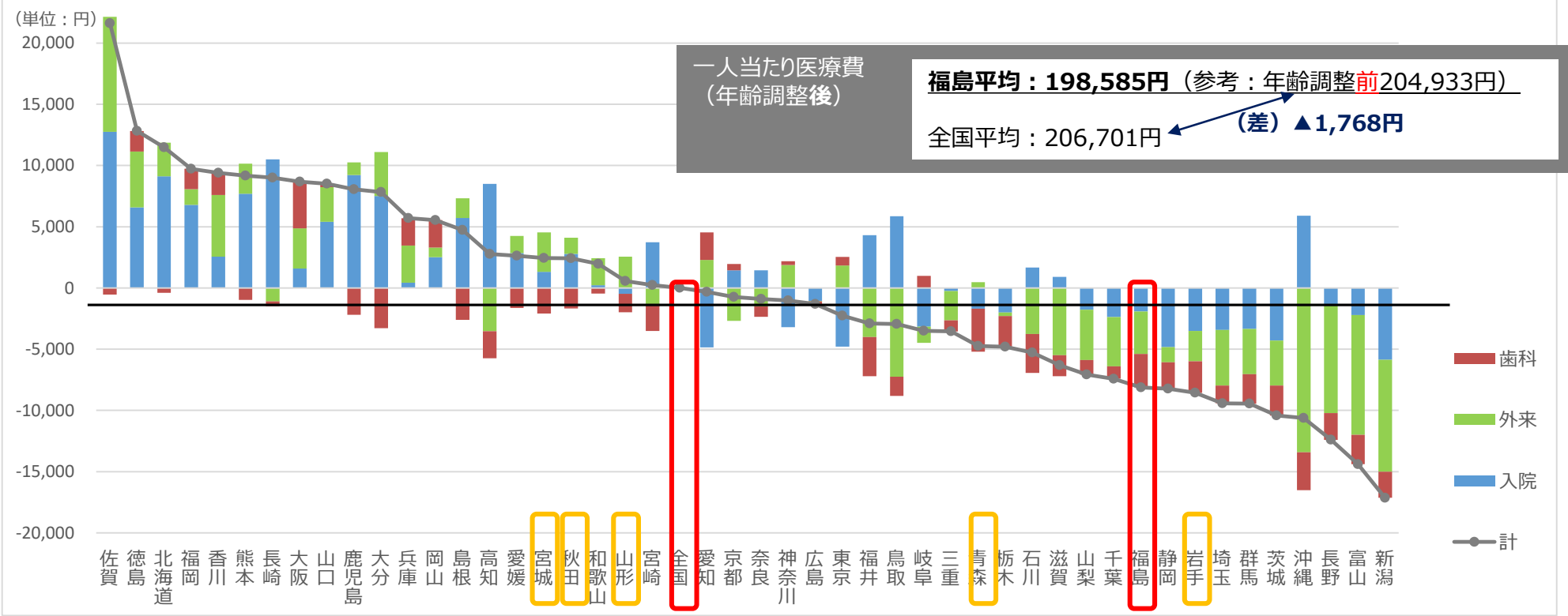
全国健康保険協会 福島支部
協会けんぽ

協会けんぽ福島支部公式キャラクター

支部事業計画・予算策定、予算認可までのスケジュール



●一人当たり医療費について（令和5年度・年齢調整後）



年齢調整前一人当たり医療費
福島支部と全国平均との差
▲1,768円

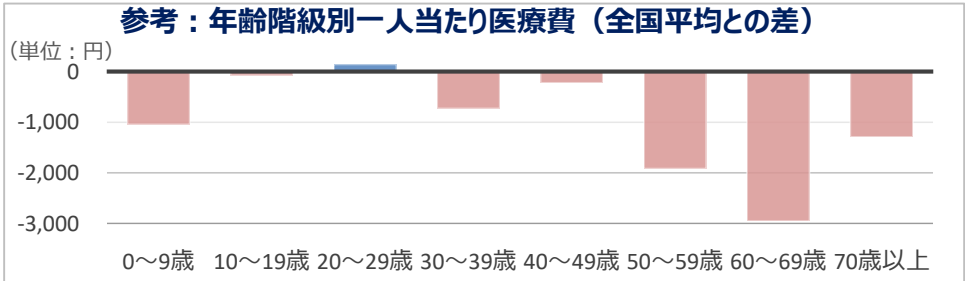
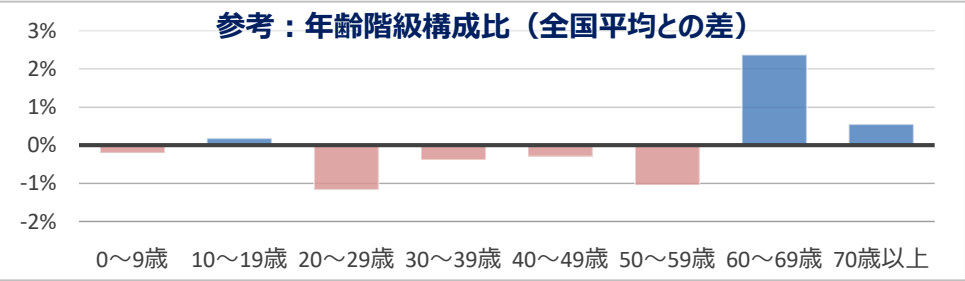
=

年齢差（高齢化の影響等）
全国平均との人口構成割合の違い
6,348円

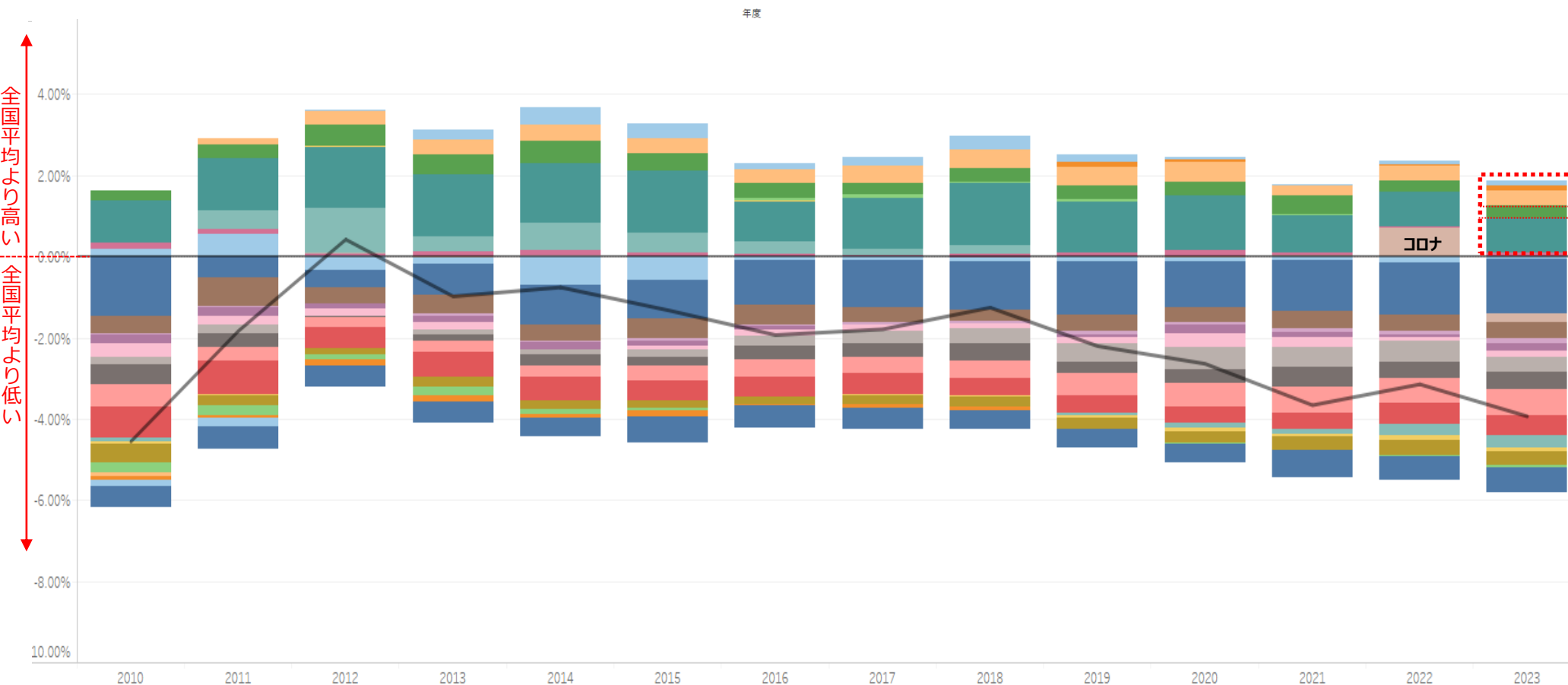
+

地域差
年齢階級別の一人当たり医療費の違いによるもの
▲8,117円

※端数の都合上、数字が一致しない



年齢調整後一人当たり医療費の全国平均からの乖離率（疾病大分類別）



疾病大分類

01感染症及び寄生虫症

02新生物

03血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害

04内分泌、栄養及び代謝疾患

05精神及び行動の障害

06神経系の疾患

07眼及び付属器の疾患

08耳及び乳様突起の疾患

09循環器系の疾患

10呼吸器系の疾患

11消化器系の疾患

12皮膚及び皮下組織の疾患

13筋骨格系及び結合組織の疾患

14泌尿路生殖器系の疾患

15妊娠、分娩及び産じょく

16周産期に発生した病態

17先天奇形、変形及び染色体異常

18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

19損傷、中毒及びその他の外因の影響

22特殊目的用コード

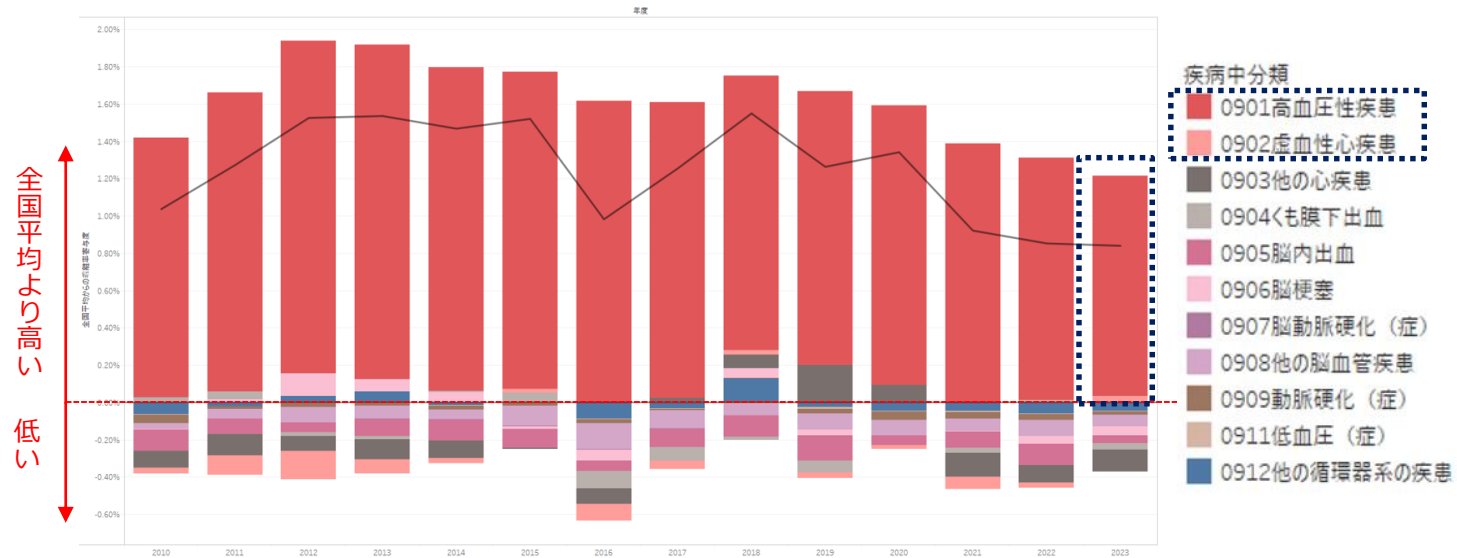
30歯科

99不明

年齢調整後一人当たり医療費の全国平均からの乖離率（疾病中分類別）

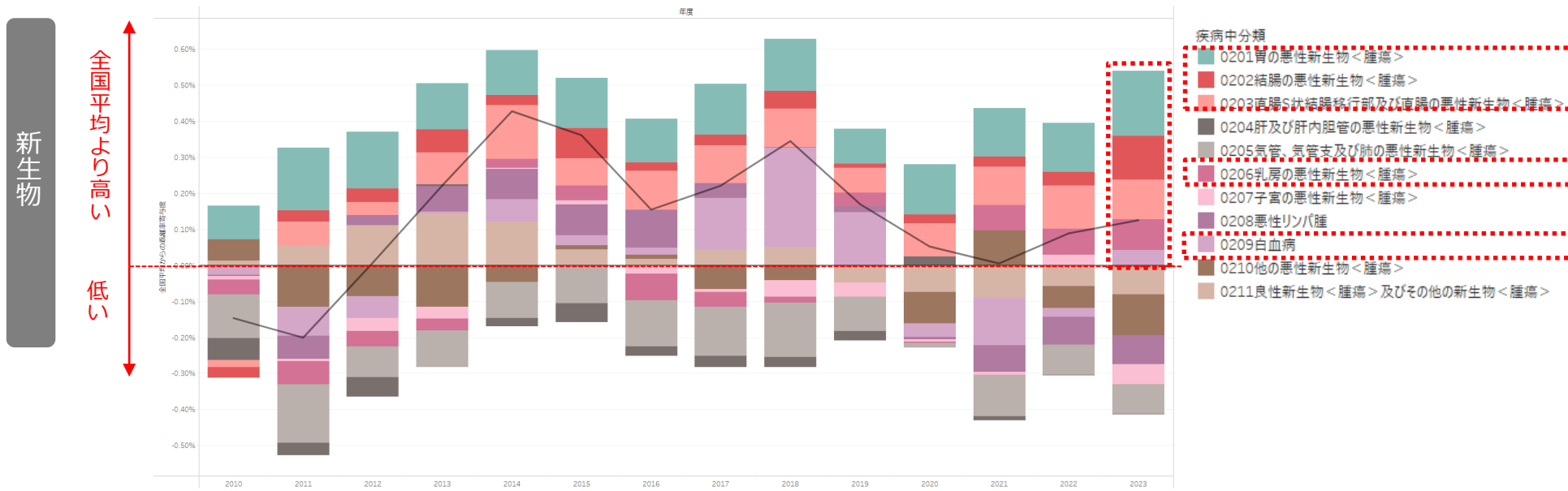
※ P 3「疾病大分類別」で全国平均を上回る3分類

循環器系の疾患



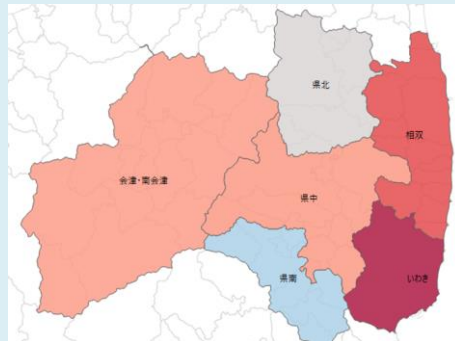
内分泌、栄養および代謝疾患



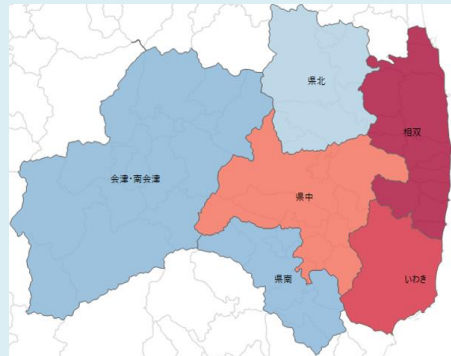


二次医療圏別 一人当たり医療費の地域差（全国平均との差）

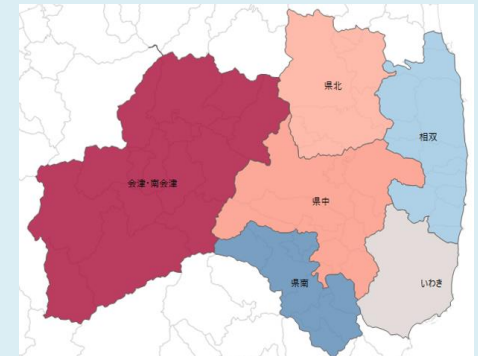
循環器系の疾患



内分泌、栄養および代謝疾患

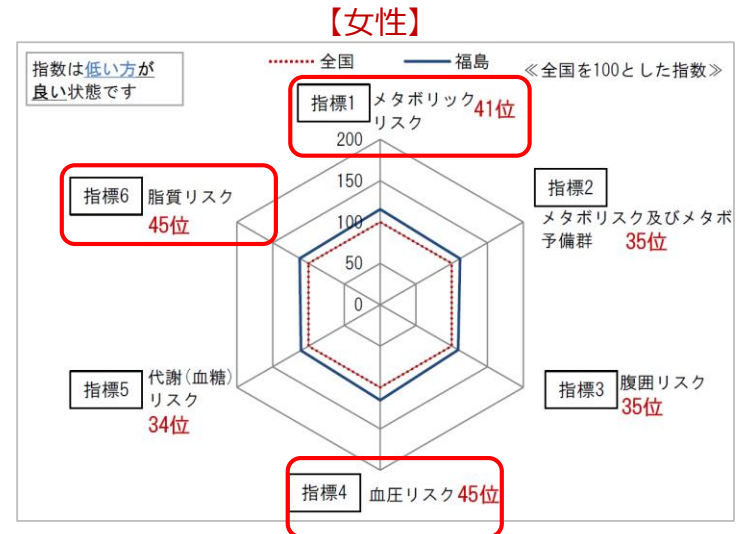
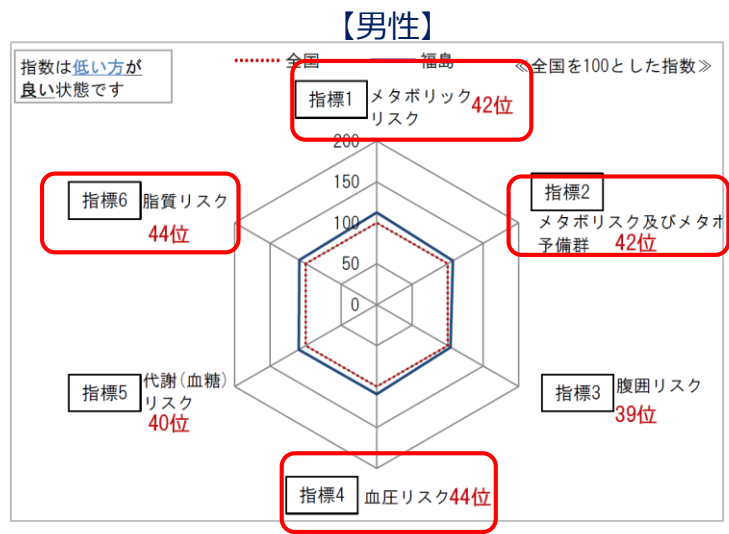


新生物

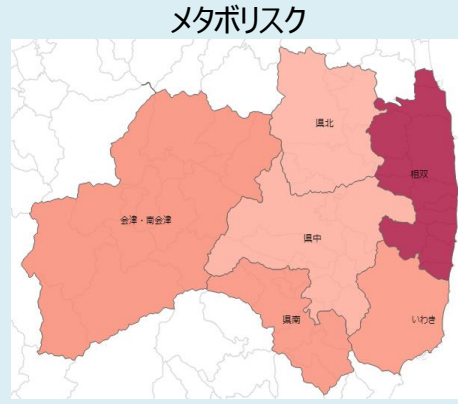
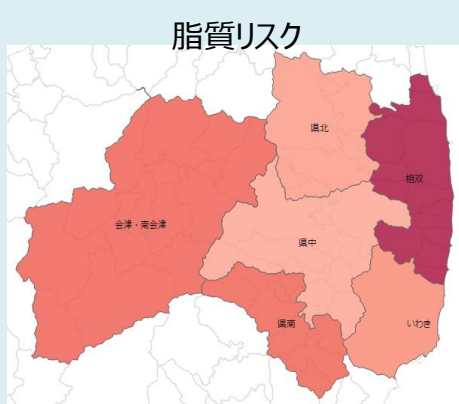
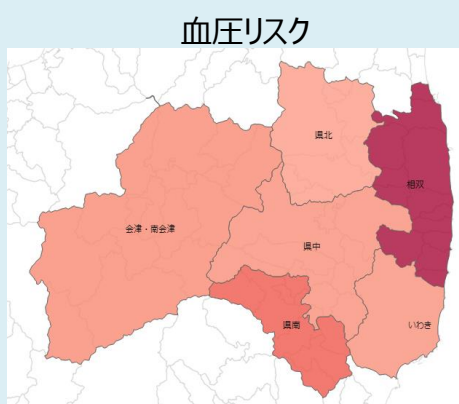


赤色が濃いほど全国平均より一人当たり医療費が高いことを示している

●生活習慣病リスク保有者の割合（令和5年度）



二次医療圏別 リスク保有率（全国平均との乖離） ※男女計



福島支部事業所（被保険者）の業態別 生活習慣病リスクについて

【割合ベース】

※被保険者1,000人以上の産業大分類別に集計。年齢調整なし。

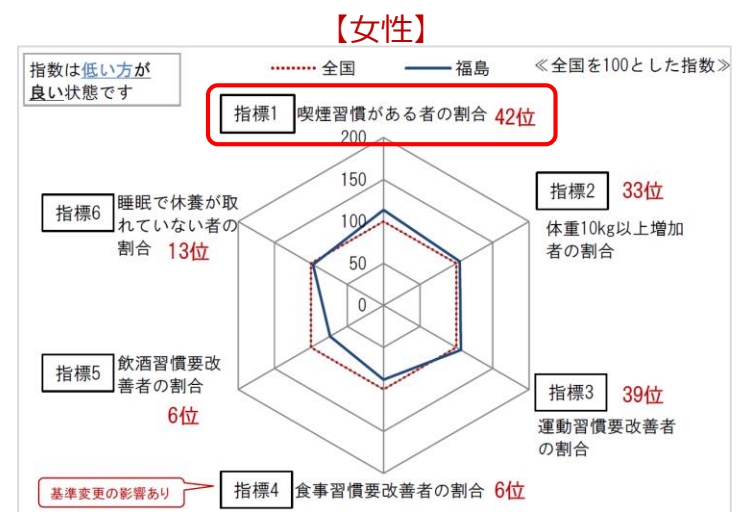
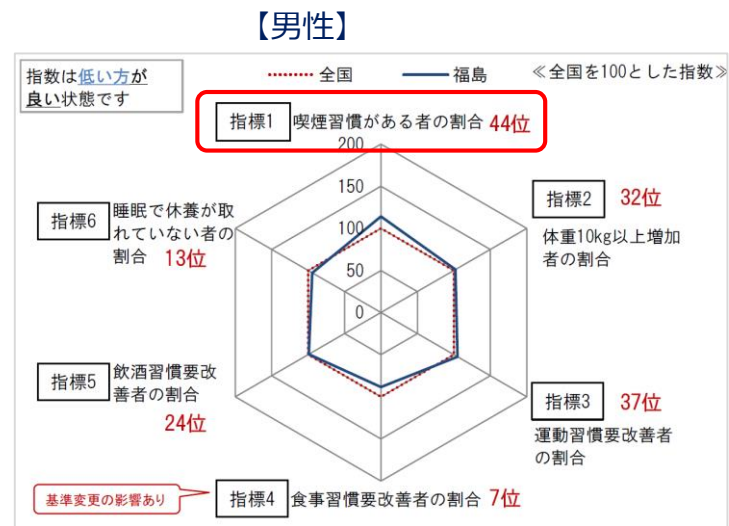
ワースト	1位	2位	3位	4位	5位
血圧リスク 保有者	運輸業	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	農林	複合サービス業
	64.9%	58.8%	58.3%	55.1%	54.8%
脂質リスク 保有者	運輸業	建設業	情報通信業	金融・保険業	複合サービス業
	41.6%	38.9%	38.0%	37.3%	35.4%
メタボリック リスク 保有者	運輸業	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	金融・保険業
	30.6%	25.9%	23.5%	22.9%	22.0%

【人数ベース】※母数となる加入者数の影響が大きいことに注意が必要

ワースト	1位	2位	3位	4位	5位
血圧リスク 保有者	製造業	医療・福祉	建設業	卸売業、小売業	サービス業 (他に分類されないもの)
	18,325人	17,255人	15,001人	14,763人	11,165人
脂質リスク 保有者	製造業	建設業	医療・福祉	卸売業、小売業	サービス業 (他に分類されないもの)
	10,868人	9,914人	9,848人	8,810人	6,466人
メタボリック リスク 保有者	建設業	製造業	卸売業、小売業	医療・福祉	サービス業 (他に分類されないもの)
	6,597人	5,930人	5,044人	4,516人	3,945人

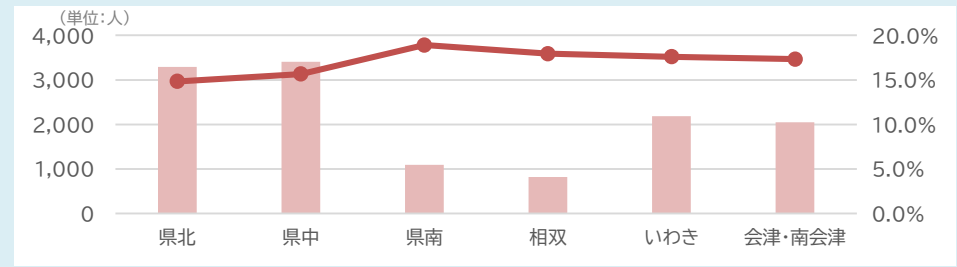
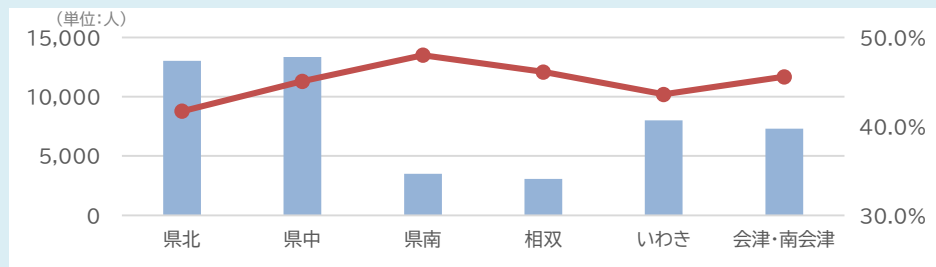
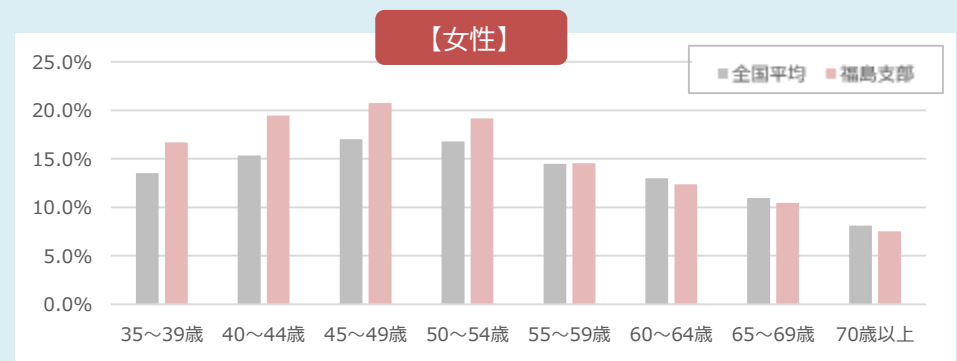
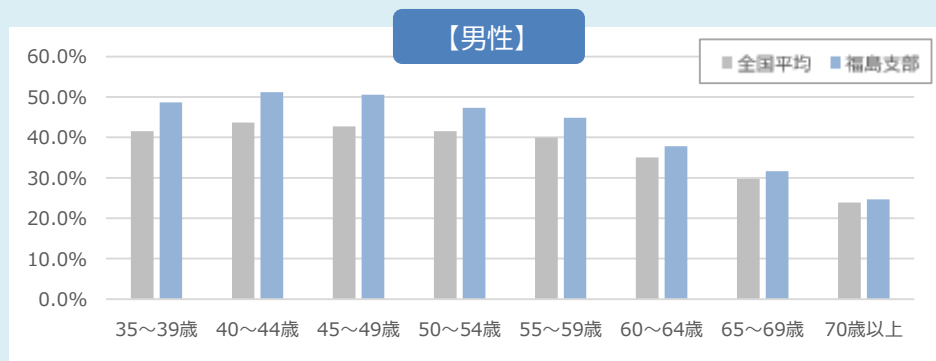
※サービス業（他に分類されないの）・・・職業紹介・労働者派遣業、修理業、廃棄物処理業、政治・経済・文化団体 等

●生活習慣要改善者の割合（令和5年度）



福島支部加入者の喫煙リスク（喫煙者数／喫煙率）について（令和4年度）

※令和5年度第3回評議会 資料6から抜粋



●保健事業の実施状況

●被保険者		(単位：％)	令和３年度	令和４年度	令和５年度
健診受診率（A+B）		全国	62.1	65.2	64.8
		福島	69.3	71.3	72.2
		全国との差	+7.2	+6.1	+7.4
	A:生活習慣病予防健診 （40～74歳）	全国	53.6	56.4	57.7
		福島	61.1	63.5	65.4
		全国との差	+7.5	+7.1	+7.7
	B:事業者健診	全国	8.5	8.8	7.1
		福島	8.2	7.7	6.9
		全国との差	−0.3	−1.1	−0.2
特定保健指導実施率 （初回面談）		全国	22.5	23.4	26.0
		福島	32.6	33.1	33.2
		全国との差	+10.1	+9.7	+7.2

●被扶養者		(単位：％)	令和３年度	令和４年度	令和５年度
特定健診 受診率		全国	26.2	27.7	28.3
		福島	26.9	27.7	27.4
		全国との差	+0.7	±0.0	-0.9
特定保健指導実施率 (初回面談)		全国	16.0	18.0	18.7
		福島	5.9	9.9	13.0
		全国との差	-10.1	-8.1	-5.7

●福島支部の課題

課題①

◎一人当たり医療費は全国平均を下回っているが、疾病別にみた場合、全国平均を上回るものは生活習慣病が多い。

全国平均を上回るもの

- ・循環器系の疾患（主に高血圧性疾患）
- ・内分泌、栄養及び代謝疾患（主に糖尿病）
- ・新生物

課題②

◎全ての生活習慣病リスク保有率が全国平均を上回っているが、特に「メタボリックシンドローム」、「血圧」、「脂質」のリスク保有率が高い。

二次医療圏別にみると「相双」が高い傾向。

業態別にみると、割合ベースでは、「運輸業」「建設業」、人数ベースでは「製造業」「建設業」「医療業・保健衛生」が多い傾向。

課題③

◎「喫煙率」の高さ

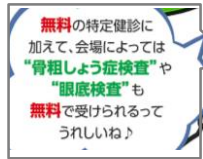
協会けんぽが保有する問診データ（令和4年度／35歳以上）から集計した喫煙率は、男性44.2%。女性16.8%。
特に男性は全ての二次医療圏において喫煙率が4割を超えており、また、年齢階級別では喫煙率5割を超える年代もある。

課題④

◎被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が全国平均よりも低い。

被保険者の健診受診率、特定保健指導実施率は全国平均を上回っている一方、被扶養者に関しては、令和5年度の特定健診受診率は前年度を下回り、特定保健指導実施率は令和3年度以降、全国平均を下回っている。

●令和6年度の主な取り組み（保険者機能強化予算に関するもの）

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況	令和7年度継続の検討
1	広報全般	継続	【紙媒体による広報】 日本年金機構から毎月、全事業所宛に送付される郵送物にチラシを同封	通年	継続
2		継続	【新聞等を活用した広報】 地方新聞の記事下広告および商工会議所会報誌（県内6か所）へのチラシ折込	新聞5・8・12月 会報誌7・12月	継続
3		継続	【LINEを活用した広報】 加入者（主に被扶養者）へ直接働きかけるツールとして、健診実施情報や健康情報等を発信	通年 （10/16時点） 友だち登録数2,885	継続
4	特定健診受診率の向上	継続	【被保険者 集団健診の開催】 生活習慣病予防健診実施機関の少ない県南・相双地区での集団健診の開催	全16回 （9月時点） 8会場379名受診	継続
5		新規	【小規模事業所加入者への個別案内】 生活習慣病予防健診受診率が低い 小規模事業所勤務者へ個別案内を送付  	6月 24,276件発送	継続
6		継続	【被保険者 事業者健診結果の取得】 外部委託による事業所へのデータ提供勧奨および健診結果（紙媒体）のデータ化	通年実施	継続
7		継続	【被扶養者 集団健診の開催】 福島支部主催の受診者負担のない「0（ゼロ）円健診」の開催 （新規） オプション検査の導入（眼底検査・骨粗しょう症検査）  	全12市町村 54回開催予定 （9月末時点） 8市町村26回開催 1,492名受診	継続
8		継続	【被扶養者 施設健診案内DMの送付】 市町村集団健診日程終了後に、施設健診等残された受診機会を記載したDMを送付	全2回 10月	継続
9	特定保健指導実施率の向上	継続	【保健指導対象者の自発的な取り組みを促す情報発信】 腹囲がわずかに特定保健指導の基準値を超えている者を対象に、自発的な行動変容を促すDMを送付	通年実施 （9月時点） 1,869件	継続

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況	令和7年度継続の検討						
10	重症化予防	継続	【糖尿病性腎症患者の重症化予防】 医師会と連携し、糖尿病患者へのフォローアップを支部保健師が実施	2名開始 (指導期間約半年)	継続						
11		継続	【チラシ配布による受診勧奨】 健診機関による健診結果に同封するチラシの作成／事業所における従業員への受診勧奨を促すチラシの作成	健診機関(6月送付済) 事業所(随時配布)	継続						
12		新規	【健診当日の医療職による受診勧奨】 健診当日に医療職より医療機関への受診を促し、 受診状況を福島支部に報告するハガキを手渡し	受診をお勧めする検査項目（健診機関記入項目） 健診受診年月：令和 年 月 ☐ 血圧 / ☐ 血糖 / ☐ LDLコレステロール 受診結果（ご本人様記入項目） 受診日：令和 年 月 日 医療機関名 ☐ 異常なし	R6.6より通年 (8月時点) 1,082枚配布 34件回答あり (うち治療開始18件)	継続					
13	医療費適正化	継続	【メンタルヘルスセミナー】 県内2会場で、職場におけるメンタルヘルスケアへの理解向上を図る。	10/23（水）郡山 10/29（火）福島	継続 テーマは禁煙を検討						
14		新規	【ビジョン広告およびWeb広告】 ポピュレーションアプローチとして、地域の課題に合わせたビジョン広告およびWeb広告を行う。 <table><tr><td>禁煙、受動喫煙防止</td><td>郡山駅前（ビジョン広告）／ 県中地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）</td></tr><tr><td>特定健診（がん検診）受診勧奨</td><td>いわき駅前（ビジョン広告）／ いわき地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品の使用促進</td><td></td></tr></table>	禁煙、受動喫煙防止	郡山駅前（ビジョン広告）／ 県中地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）	特定健診（がん検診）受診勧奨	いわき駅前（ビジョン広告）／ いわき地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）	ジェネリック医薬品の使用促進		ビジョン広告 9月下旬～ Web広告 10月上旬～	継続 （動画テーマ、 広告方法は 検討）
禁煙、受動喫煙防止		郡山駅前（ビジョン広告）／ 県中地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）									
特定健診（がん検診）受診勧奨	いわき駅前（ビジョン広告）／ いわき地域（バナー広告、Tver CM、Youtube CM）										
ジェネリック医薬品の使用促進											
15	健康宣言 (フォローアップ)	継続	【情報提供】 機関誌の発行（年3回） 事業所のごとの健康課題をまとめた事業所健康度レポートの送付	機関誌6.9.12月 レポート発送8月	継続						
16		継続	【取組支援】 出前講座の実施、血管年齢測定器などの健康度測定器の貸し出し	出前講座 通年実施 健康度測定器の貸出 7月～翌年3月	継続						
17		継続	【認定制度 運営】 福島県と共同で実施しているふくしま健康経営優良事業所の認定に向けたWebアンケートの実施	アンケート5～7月実施 認定12月頃	継続						

現在検討中の令和7年度新規事業について

1 尿中塩分濃度測定に関する事業

2 禁煙アプリを活用した禁煙指導に関する事業

【参考】保険者機能強化予算に関する福島支部のKPI実績

項番	項目	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		KPI	実績	達成状況	KPI	実績	達成状況	KPI	進捗	
1	生活習慣病予防健診実施率	61.5%	63.5%	○	62.0%	65.4%	○	65.0%	22.8%	R6.8時点
2	事業者健診データ取得率	9.6%	7.7%	×	11.8%	6.9%	×	8.0%	2.0%	R6.9時点
3	被扶養者の特定健診実施率	38.1%	27.7%	×	42.5%	27.4%	×	29.8%	2.9%	R6.7時点
4	被保険者の特定保健指導の実施率（評価）	34.6%	27.1%	×	38.7%	28.2%	×	31.2%	9.0%	R6.8時点
5	被扶養者の特定保健指導の実施率（評価）	6.5%	7.9%	○	6.5%	12.1%	○	9.3%	4.2%	R6.8時点
6	健診受診後10か月以内に医療機関を受診した者の割合 ※令和5年度までは「受診勧奨後3か月以内」	12.4%	10.7%	×	13.1%	8.84%	×	32.1%	31.9%	R6.8時点
7	健康宣言事業所数 ※KPI設定は令和4年度～	1,940社	1,954社	○	2,070社	2,039社	×	2,220社	2,101社	R6.9時点
8	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	51.2%	51.8%	○	51.8%	52.6%	○	53.0%	53.46%	R6.9時点
9	ジェネリック医薬品使用割合	82.2%	83.7%	○	83.7%	85.3%	○	85.3%	86.2%	R6.5時点
10	効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	実施	未実施	×	実施	実施	○	実施	実施	R6.9時点